

宗家 67 年の歩み

宗家は鹿児島県志布志町で誕生し、三歳から家伝の田浦無想流古武道を祖父井久保乙次郎である第28代棟梁から伝授されました。(刀法・柔術・杖術等)10歳頃には空手にも触手し武道の稽古に励んでました。

祖父が亡くなり第29代棟梁を継承し現在にいたっております。

そして、昭和32年6月10日鹿児島から転勤で北海道札幌に居を構え多くの門下生を育成し現在に至っています。

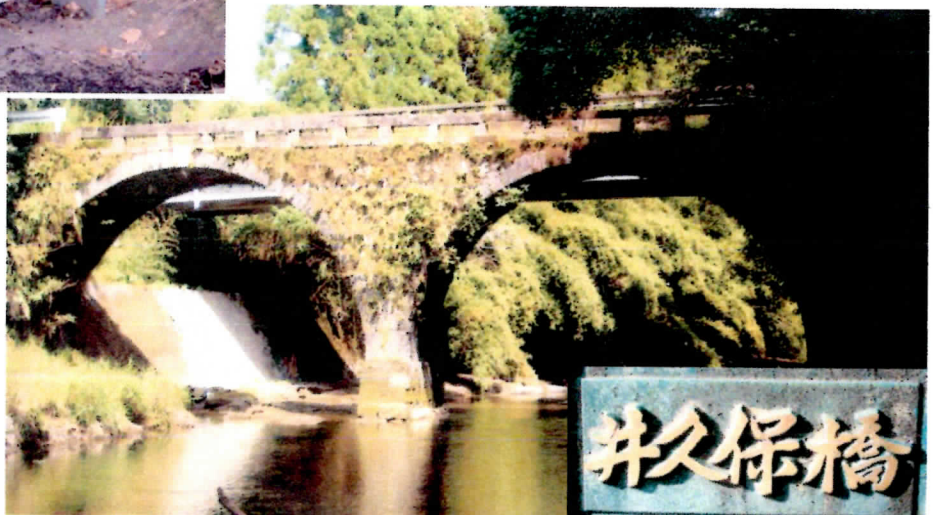
又、家伝の田浦無想流古武道を基幹とし、空手道を含み日本総合武術研究会を創立されました。この間に北海道自衛隊防具付空手道連盟を立ち上げ現在も継続され毎年大会が実施されています。

平成3年からは海外にも田浦無想流古武道が認められ、フィンランドを拠点としフランス・イタリア・スイス・ロシア・エストニア・ラトビア・ウクライナ・アゼルバイジャン等毎年海外指導にあたっています。この間に平成13年札幌で第1回国際親善古武道演武会をスピカで開催し、11ヶ国が参加しました(その後2回)。日本でも年に一度田浦無想流古武道演武会を実施継続しています。

文芸社より「護身術・護衛術・逮捕術」の本を出版し武道だけではなく世界を見つめ、「世界恒久平和の幻想」「剣が峰に立つ日本日本を守り抜く」「中国の侵略はもう始まっている」等の本を出版されました。



井久保の守り神



鹿児島志布志町井久保橋